

光の雲

私は和歌山県立図書館で見つけた「キリスト教神秘主義辞典」（神秘体験を追及する人のための辞典）で**光を見る体験**を調べてみました。

神秘体験を追及する人たちの中には、行に取り組み始めると直ぐに「まぶしすぎない光」を見始める人がいると書かれていました。

私もそのタイプのようなようです。

初めてしばらくして「光の雲」が。見えはじめました。当時は光のオーロラと呼んでいたのですが。

そのほかにも、いろいろ形を変えて見れました。

まるで「**マンダラ**」のモデルではないかと思われるドーナツ型の光の雲も見れました。

他にもそのような人がいたようです。

私が敬愛する**経営の神様・松下幸之助さん**です。（彼は悟った人です）

彼の西宮の大きなお屋敷「光雲荘」、さらにお墓には「光雲院釋真幸」と書かれています。

いずれにも**光の雲**を連想させる文字が使われています。

私は光の雲を見続けてきたものとして、偶然ではないと思うのです。

光の雲は色を変えることもあり大変キレイなものです。

形や色が変わるたびに行が進行しているのだらうと期待できて、ひとりでする孤独な行の中で、励まされる思いをしています。